

名古屋港のここがポイント! 13



ふねの歴史!

船は乗り物の中では最も古く、約6000年も昔からあるんだ。



さいしょは、浮かぶ丸太につかまっていたのはじまりなの。車や列車みたいに、エンジンのような機械は必要ないから、かんたんだったのね。



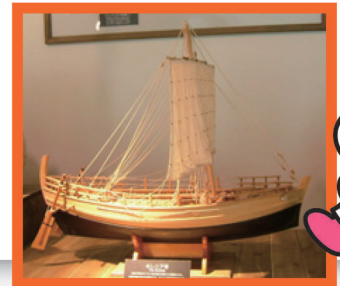
何本かの丸太をつなげれば、つかまらなくてもいいし、荷物を乗せる事もできるようになったよ。これを『いかだ』って言うんだ。両手が使えるようになったから、棒や竿でいかだをこぐ事もできるようになったよ。



大きな木があるところでは、木をくり抜いて舟をつくりました。これを『丸木舟』と言います。いかだよりも早くすすめて、沈みにくいんだ。



紀元前 3000 年頃のエジプトでは、帆をはった舟が使われ始められました。風の力を利用するから、楽になりました。でも、まだ人の力を手助けをするくらいだったの。だから、せいぜい1週間くらいしか舟をこげなかったから、海の遠いところまでは行けなかったの。



船体が大きく作れるようになると、たくさん的人数でこげるようになるよ。地中海で活躍したガレー船や、北欧のバイキング船がそうなんだ。



このダウ船という船は、1000年くらい前から、インド洋やアラビア海・紅海・ペルシア湾で使われた、三角の帆が特徴の船です。1000年経った今でも、エンジンなど部分的に機械化しているけれど、活躍しているのよ。

